

北翔大学で学ぶみなさんへ ～学長からのメッセージ～

北翔大学

学 長 山 谷 敬三郎 Keizaburo Yamaya



2020（令和2）年1月に感染が判明した新型コロナウイルス感染症への対応が4年目になっています。感染症法上で分類変更になったとしても、気を緩めずに、感染拡大防止のために私たち一人ひとりが出来ることを着実にやり、一日も早く日常を取り戻すことができるよう共に頑張りましょう。

北翔大学は、1997年に北海道女子大学として開学してから今年で26年目を迎えます。建学の精神にある「自立できる社会人の育成」を基本にした高等教育機関で学んだ9,400人を超える先輩達が、北海道はもとより、日本全国の各地で活躍しています。そして、地域社会からは本学のこれまでの実績に多くの信頼と期待が寄せられています。

本学は、スポーツ教育学科と健康福祉学科を有する「生涯スポーツ学部」と、教育学科、芸術学科、そして、心理カウンセリング学科を有する「教育文化学部」の2学部で構成されています。これら5学科には、それぞれ地域社会のリーダーとして活躍できる幅広い教養と専門的知識を身に付けることのできる教育内容でカリキュラムが編成されています。

スポーツ教育学科は、「子どもから高齢者まで運動を通して心身の健康づくりをサポートする人材」を、健康福祉学科は、「超高齢化社会において、既存の福祉・介護の領域に新たに健康・運動を加えた福祉専門職」を、教育学科は、「保育士、幼稚園・小学校教諭、中学校音楽科教諭、養護教諭」を、芸術学科は、「美術、メディアデザイン、インテリア建築、服飾美術、舞台芸術の5分野を幅広く身に付けた職業人」を、心理カウンセリング学科は、「臨床心理分野や精神保健福祉分野を通して、一人ひとりの心を包括的に支える人材」を、それぞれ養成することを目的にしています。

大学は、これまでの小学校、中学校、高等学校で身に付けてきた知識や考え方を基盤にして、主体的に自らの専門性を深めるために学修・研究する場です。この4年間の学生生活で身に付けた専門性は、社会で皆さんがどのように活躍できるかという出発点となります。そのためには、自ら主体的にどの科目を選択し、どのようなテーマで研究を深めるかが求められます。そのことが、これからの皆さんの社会人としての人生の土台となります。また、大学生活は大人としての生活の始まりでもあります。自主的なサークル活動やアルバイトも一人の大人として責任を持って活動することができます。また、広く社会を見つめ、学修を基盤とした自律した生活を送ることが求められます。

この「学生便覧」は、皆さんが学生生活を送る上での手引きであり、社会に出てからも皆さんの学修の履歴を確認するためのものでもあります。どのような資格を取得して社会で活躍するのか、どのような学生生活を送るのか、この便覧をもとにして学修計画を練り上げてください。

最後に、本学は、「愛と和と英知」を教育理念として教育活動を展開しています。これは学生にだけ求めるものではなく、教職員一人一人にとっても大切な理念です。その理念を共有して、皆さん一人ひとりが夢や希望の実現に向けて実りある大学生活を送ることを支援したいと考えています。